

総務常任委員会行政視察概要

令和7年8月6日（水）

於 高浜市いきいき広場1階 会議室A

午後1時～午後3時

1 調査概要

「高浜小学校等整備事業について」

学校経営グループ 主任

学校経営グループ 主事

高浜市では、総人口が2020年から2040年までの間に約3,000人増加する見込みであり年少人口はすでにピークを過ぎているが、今後は緩やかに減少していく見込みである。高浜市の公共施設の保有面積割合の約半分を占めているのが学校であるが、児童生徒数が大きく減らないため、学校施設を維持させていく必要がある。公共施設老朽化へ



の対応と持続可能な自治体を両立するために、小学校に施設の複合化の考えを取り入れ、庁内で学校施設別検討部会を平成26年に立ち上げている。

複合化については小学校区の公共施設である児童センター、市民ホール、体育センター、公民館、老人憩の家、介護予防施設を小学校にPFI手法により集約しており、施設面積の圧縮化、利用効率のアップ、児童センターを小学校に併設することにより児童は敷地内移動ができるなどのメリットがある。

市内の他の4小学校については、躯体をさわずに外壁や屋上防水をして30～40年間の長寿命化を図っていく。

2 主な質疑応答

問 公共施設の一般開放について学校現場からの声は。

答 地域の方が入ってくること、また複合化にあたり、プールを無くすことに抵抗があった。建て替えにおいて、学校の先生に集まってもらったが、特別教室の地

域の住民への開放についても抵抗があった。

問 市長部局と教育委員会が縦割りの中、どのように計画を進めたのか。

答 平成21年に就任した現市長が、公共施設の再配置をマニフェストに掲載していた。トップダウンで在り方検討が開催された。

問 特定目的会社でPFI事業を行っているが、市内業者はどのくらい含まれるのか。

答 名古屋市や刈谷市の会社を中心だが構成企業として1社高浜市の企業も参加している。

問 小学校に一般の市民が入ってきてセキュリティ面は大丈夫なのか。

答 警備員等は特に配置していない。入り口等を物理的に区切っており、入れないようにしている。また市長は、地域の目があることで、不審者の通報が入りやすくなり、抑止効果があると考えている。

問 旧施設は現在どのようなになっているのか。

答 理解を得たところから解体をしようとしている。公民館は次回建て替え時に検討する。

問 PFIをするにあたって、VFM2.1%だが本来はどの程度を見込んでいたのか。

答 契約時は10%を超えていた。工事を進めると校舎からアスベスト、運動場から産業廃棄物が発見され物価高等で維持管理費も上がってきていることから数字が下がっている。

以上